

北中だより

校訓：自主 明朗 協同



南島原市立北有馬中学校
令和7年5月21日発行
文責：校長 松尾 博愛

～親子除草作業～

5月11日（日）に親子除草作業を実施しました。本年度は、枝切りや校舎裏の草刈りなど何年も手が付くことができなかった箇所を、丁寧に作業をしていただきました。おかげをもちまして、日々気持ちのいい環境で教育活動を送ることができています。生徒、保護者、教職員共々、いい汗を流すことができました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



～体育大会～ 「勇往邁進」～未来を照らす光となれ～

5月18日（日）天候が心配ではありましたが、無事グラウンドにて盛大に開催することができました。

本年度は、決められた時間の中で、3年生を中心にたくさん知恵を出し合い、いかによいものをつくりあげるか、全力で取り組みました。各団とも、仲間とともに汗を流し、声をかけ合い、精一杯練習に励んできました。その過程で、勝ち負け以上に大切なもの、全力で取り組む姿勢、あきらめない気持ち、そして仲間を思う心を培うことができたと確信しています。子どもたちは、毎日疲れ果てて帰ってきたことと思います。これまで、支えていただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

また、当日も、ご来賓をはじめ、地域のたくさんの方にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。体育大会終了後も、保護者の皆様にはテントの後片付けなど、ご協力いただき、重ねて感謝申し上げます。



～体育大会を終えて～

「各団長からひと言」 ★北中健児ここにあり★

青団 団長 野田悠稀さん

体育大会お疲れ様でした。みなさんのおかげで、成功できました。ありがとうございました。僕は体育大会で2つのことを学びました。

1つ目は、仲間の大切さです。リーダーだけでなく、他の3年生もリーダーの気持ちで、1・2年生に声かけをするなどして、リーダーを支えてくれた時に、仲間の大切さを実感しました。

2つ目は、臨機応変に対応することです。天気が急に変わった時に、場所の変更を1・2年に伝える大変さがあり、これまでの3年生はすぐに対応できていたのを思い出すと、すごいと感じました。

僕たちはこの体育大会で大きく成長することができました。これからの学校生活でもっと成長していきたいです。

赤団 団長 大仁田理彌さん

本番は、体調が万全でない人もたくさんいました。その中でも、自分にできることを一生懸命、全力で頑張ってくれました。だからこそ三冠をとれなかった悔しさもとても大きかったです。

しかし、皆の真剣なまなざし、熱い思い、勝利を信じ、つないだバトン、すべてをのせたパフォーマンスは、私たち3年生のかけがえのない宝物になりました。

本当にありがとうございました。
そしてお疲れ様でした。

～おめでとう～

○島原半島バスケットボール春季戦 準優勝
(バスケットボール女子 拠点校部活動)

3年 城代璃音さん、永池陽菜乃さん

2年 竹市真菜さん

1年 野田結菜さん、山村和香さん

○第12回 島原文化連盟主催 宮崎康平賞
小中高 文芸コンクール (有馬小6年時作品)

1年 谷口 栞渚さん 短文部門 優秀賞

○令和7年度南島原市令和遣欧少年使節団員 決定
3年 大仁田 理彌さん

○ながさき PEACE 文化祭 2025 (国民文化祭)
上映 決定 11月 諫早文化会館

1年 谷口 栞渚さん、永友 蒼さん

2年 永友 瑛さん、小柳 和花さん

3年 松尾 莉奈さん

○レスリング九州大会 中学生の部 65kg 級準優勝
2年 大町 倫太郎さん

☆学校の話題☆ ～玄関横の水槽～

北有馬「大丸川」で採れた「ドジョウ」を保護者の方よりいただきました。

学校の来賓玄関に設置している水槽で元気に泳いでいます。子どもたちの癒しになり、心が和んでいます。

決して、食用ではありませんのであしからず。



～クラブチーム等の表彰伝達について～

子どもたちの頑張りを認め、伸ばしていく方針で学校教育活動を進めています。ただし、表彰伝達の数が増えると全校での表彰時間の確保等の課題により、教育活動に影響が出る場合があります。

そのため、本年度、次の1と2を満たすクラブチーム（文化的活動を含む）について、校内における表彰伝達を行います。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

- 1、中体連がかかわる県大会以上の大会、またはこれに準ずるレベルの大会(コンクール等)である場合。
(市大会レベルのものの表彰伝達は実施いたしません。)
- 2、本人(保護者)の申し出があった場合。

※子どもたちの様々な場面での活躍は、「認め・励まします!!」ぜひ、学校へもお知らせください。